

【不審メールの内容 メール本文（例）】

差出人：信用金庫 〈XXXX@xxxx.com〉

「信用金庫」と表示されますが、アドレスは不審なものとなります。

日時：2025 年 xx 月 xx 日 xx:xx:xx JST

宛先：(受信者のアドレス)

件名：お取引目的等の確認のお願い（重要）

XXXX は信用金庫名が記載されています。

平素より、XXXX 信用金庫をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当行では、お客様に安全で安心な取引環境を提供するため、関係省庁と連携し、特殊詐欺防止やマネーロンダリング対策を強化しています。

このたび、犯罪収益移転防止法及び金融庁のガイドラインに基づき、定期的にお取引目的等の確認を実施しております。お客様の情報をご確認いただくため、以下の URL からご対応をお願い申し上げます。

【確認のお願い】

2025 年 xx 月 xx 日までに、下記リンクよりご自身の情報えおご確認いただきますようお願い申し上げます。

▼お取引目的等の確認

<https://xxxxxxxxxxxxxx.com>

アクセスすると不審なサイト、偽サイトに誘導されるため、**開かないこと！**

ご確認後は、通常通りお取引いただけますが、期日内に確認が完了しない場合、アカウントに制限がかかる場合がございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

お手数おかけいたしますが、安全で安心な取引環境を維持するため、ご協力をお願い申し上げます。今後とも、XXXX 信用金庫をよろしくお願い申し上げます。

XXXX は信用金庫名が記載されています。

〈不審なメールを受信した場合の注意事項〉

- ・ 差出人のアドレス、文面の内容、添付ファイルの存在など、メールの内容に不審な点がある場合は開かないこと。
- ・ メール内のリンクを開く前に正しいものか確認すること
フィッシングサイトや偽サイトに誘導され、ID やパスワードを盗まれたり、ウイルスに感染する可能性があります。
- ・ 添付ファイルを開かない
ウイルスに感染する可能性があります。
- ・ WEB バンキング・WEB-FB を利用するときは、当金庫ホームページよりログインし利用すること
正規のホームページよりログインをお願いいたします。